

選ばれるデイ の条件と実際の取り組み

700軒以上の事業所を見学してきた
経験則から解説!

介護ぷらす 代表者／高齢者お悩みサポーター

山川 仁



1979年北九州生まれ。2004年3月から訪問介護事業所の管理者として介護相談に対応する中「介護の相談や老人ホームを探したいけれど、誰に相談したらよいか分からない」といった声をたくさん聞く。そういった要望に対応するべく、2009年9月から北九州市内の介護施設を見学していくことを決意。これまで700軒以上の施設を見学して回り、さまざまな介護相談に対応。現在、これまでの相談対応の経験を活かしながら「ケアマネジャーに依存しない営業方法」を確立するため、全国の介護事業所向けの広報支援サービスを実施中。

とにかく個性的な名物職員が多い デイの取り組みとは

● 他社との差別化が 求められる通所施設

厚生労働省の「平成27年介護サービス施設・事業所調査の概況」によると、通所介護および通所リハビリテーション（通所施設）の事業所数は、5万軒を超えました。同様の3年前の調査と比較すると、約1万軒の通所施設が増えたこととなります。

超高齢社会に伴い、現在でも利用者数は増え続けています。しかし、同じ地域の事業所も増えているため、決して利用者の確保が楽になったわけではありません。そのため、通所施設の経営者は、ライバル事業所との差別化で自社の個性を前面に打ち出していく必要があります。とは言うものの、介護保険が施行されて15年以上経った今では、新しいサービスをつくるというのは非常に難しいことです。

私もこれまで700軒以上の施設を見学してきましたが、他社との差別化で頭を悩ませている経営者をたくさん見てきました。その中で、今回ご紹介させていただくのは、小規模施設ながらも多くの専門職種を配置し、誰が見ても「個性的」と思えるデイサービスを運営するエレッツ株式会社（北

九州市小倉南区）の代表取締役の山口義哉氏です。

個性的で名物職員と呼ばれるスタッフの多いデイサービスの取り組みとは、一体どのようなものなのでしょう？ 今回は、山口氏が提唱する「介護×エンターテイメント」についてのお話を聞かせていただきました。

● 個性的なデイサービスの 取り組みとは

インタビュー

エレッツ株式会社 代表取締役
山口義哉氏

◎ エレッツ株式会社について教えてください。

▲ エレッツとは、“理想の地”や“地球”を意味しています。企業理念は、「元気に（Healthy）」「楽しく（Enjoy）」「意欲的に（Ambitious）」「おいしい（Delicious）」「安心（Safe）」の五柱になります。この理念の下に、福祉、企画、販売、不動産、アパレル、代行業（買い物、ご家族の代わりに通院介助等）、インテリアなど、さまざまな事業展開をしています。

ディズニーランドに行けばミッキーマウスがいて夢の国を味わえるように、当社が運

営する黒船デイサービスでは、黒船号（送迎車）が迎えに来て、甲板（屋上）にはジャグジーや大砲があります。

クルー（デイサービスのスタッフ）は船長、航海士、救護士、操舵士、司厨長、機関士、通信士などさまざまな隊員がいて、司令室、メスルーム、海図室などで航海（デイサービス）任務にあたります。私は、社長ではなく、クルーや利用者から「冒険家」と呼ばれています。

Q 冒険家がデイサービスを始めた理由を教えてください。

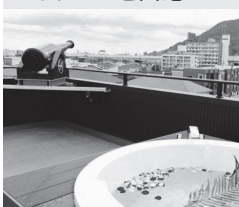
A 私が福祉の仕事を始めようと思ったきっかけは、1995年の神戸の震災に遭い、認知症の方のお世話をした経験からです。また、実際に冒険家として世界中を廻っていましたが、諸外国にて出稼ぎのアジア人が介護現場で酷使されている現状を見て、日本の未来に危機を感じていたのも理由の一つです。

介護の仕事を始める前に学んでいた考古学では、古代の歴史を学び、科学的根拠と発見物という宝を求め、地道な発掘作業を続ける必要がありました。介護の仕事でも、利用者の歴史を学び、医学的根拠と利用者の尊厳という宝を求め、地道な作業が続きます。知人の紹介で始めた介護の仕事でしたが、考古学と同じであるという気づきがありました。

黒船号 (EV車)



甲板に設置されたジャグジーと大砲



冒険家の山口義哉氏



そこで、「どうせ掘る（やる）なら、とことん掘って（やって）みよう！」と考え、まずは日本の施設を見て回り研究をしました。なぜなら、日本にはまだない施設（サービス）をつくりたかったからです。

Q 冒険家が考える「個性的なデイサービス」とは、どういったものだと思いますか？

A 個性的なデイサービスとは、何か表面的なことではなく、“利用者の個性に対応できる能力を持つデイサービス”だと私たちは考えています。当時、日本の施設を見て感じたのは次の3つです。

1. 小規模施設にて、作業療法士、介護福祉士、トレーナー、看護職員、栄養士などバラエティー豊かな専門職種が連携してサービスを実施していた施設は皆無であった。
2. おしゃれでかついいと思えた雰囲気施設の施設はなかった。
3. 介護施設は高齢者向けで同じような特徴の施設が多かった。

こうした市場調査から、私たちが行うデイサービスでは、専門的介護とエンターテイメントの融合を構想し、専門的なサービスをするも、介護にありがちな雰囲気を撤廃し、独自の世界をつくろうと思いました。私たちの謳う「介護×エンターテイメント」とは、メディアなどの派手なことではなく、純粋に“楽しさ”の追求です。

まずは、小規模で専門的なサービスを提供できる力を持った施設が必要だと考えました。そして、ブランド化のため、私のデザインを基にパタンナー（ファッションデザイナーが作成したデザインを基に、型紙におこす専門職）をつけ、コスチューム開発に1年かけました。

こうしたブランド化の目的は、福祉業界

のPRのためです。介護の問題は、日本における未来の問題と直結しています。介護業界は次世代の参入がないと、もはや成り立たない状況になってきました。しかし、一般的に介護の仕事は若者から選択される職業ではなく、労働人口は減少し続けています。このような現状を改善するため、福祉をテーマにしたヒーローを誕生させました。

なぜ、福祉にヒーローが必要なのかということですが、ヒーローショーを観た「ちびっこ」に介護の仕事に興味を持ってもらうためです。また、パパママ世代にもヒーローショーやキャラクター設定を通し、高齢者に対するネグレクトや虐待防止が伝わるよう情報を発信しています。

メインとなるキャラクターは、「ダークヒーロークロフネマン」「ギャクタイジュー」「怪人ネグレクター」です。現在、全国LIVE DAMにクロフネマンテーマソング2曲がカラオケ配信されています。ご当地キャラクターもいて、ヒーローショーを行うデイサービスはある意味で世界初でした（笑）。



現在、団塊世代の高齢者も増え、個性的な利用者が多くなりました。そのため、利用者一人ひとりに合ったサービスが求められています。そこで、黒船デイサービス4号では、心身一体の機能訓練を主体とするため、ADOCソフトを採用しています。ADOCとは、作業療法で目標とする作業を決める面接の際に、クライアント（利用者）と作業療法士とのコミュニケーションを促進させるためのiPadアプリです。

黒船デイサービス4号の目的は、利用者

の応用動作と社会適応の能力回復です。さらには、複合的動作を可能にすることで。着目点は“価値のあるやりたいこと（心身両面）”。それを実現するための活動として、作業療法を主力にしています。ここで、ADOCソフトの6つの特徴をご紹介します¹⁾。

1. イラストは、ICFの「活動」と「参加」の項目を参考に、我が国の文化に合わせた日常生活上の作業を網羅しています。
2. 作業場面のイラストを用いているので、言語のみのコミュニケーションに比べて、作業のイメージが容易です。
3. クライアントに意思決定への参加を促しやすくなります。
4. クライアントと作業療法士の協業を促しやすくなります。
5. 作業を基盤とした実践（Occupation-Based practice）に目を向けやすくなります。
6. iPadの指示に従って面接を進めていくので、手順が明確です。

利用者と作業療法士が利用者にとって価値のある作業を協議
画像は「ADOC」公式ホームページより



黒船デイサービス4号でも、iPad上でカードゲームをするように、利用者自身が価値のある作業とそうでない作業に振り分けていくことで、利用者の意思を引き出すことができます。また、利用者がイラストを選んだ後、同様に作業療法士も利用者が必要と思うイラストを選びます。そして、利用者と作業療法士が十分に協議した上で、作業療法で目標とする作業を決定します。

具体的には、利用者の“やりたいこと”を実現する選択肢として倶楽部活動や、さ

まざまな教室が定期的開催されています。パソコン教室（初級～プロ級）は授業形式で、キーボードを初めて使用した利用者が、今では家族や友人とメールのやりとりができるようになりました。

また、片麻痺があっても画像編集をする利用者、さらには確定申告をiPadで行った利用者もいます。一定レベルに到達された利用者には表彰式があり、習得経過を共に喜んでいきます。ほかにもピアノ教室や押し花教室など、プロ講師による本格的な倶楽部活動や、教室が開催されています。

iPadで確定申告を行った前田俊雄氏



画像編集をする男性利用者



押し花教室



Q 黒船デイサービス4号のそのほかの特徴を教えてください。

A 当デイサービスでは、提供する食事や水にもこだわっています。食事の米は、契約農家にコシヒカリを種とする“黒船米”を育てていただき、利用者に新鮮なご飯が提供できるよう10kgごとに精米しています。

また、収穫したての新米はかまどで炊き、皆で祝います。そして、おかずに使われている有機野菜も定期的に届き、安心・安全な食材で調理しています。メニューはモーニング（300円/食）、黒船ランチ（700円/食）、赤船ランチ（1,000円/食）、夕食弁当（500円/食）を選ぶことができます。

デイサービスで1日3食まで対応する労力とコストは経営的には非効率です。しかし、そのような状況でも朝採れ野菜を使用

する田舎のフレンチレストランのように、1回の食事を楽しんでいただきたいと考えているため、私たちはその体制を続けています。

また、目には見えにくい部分ですが、デイサービスで提供する水は3種類あります。活水器（水機能改善装置）を搭載し、水道水から水本来の機能を蘇らせ、天然水のように活きた、地球にも人にも優しい水にします。服薬にはこの水を推奨し、さらに、別の装置で電気分解した還元水素水は、デトックス効果が抜群であるため、入浴後や体操後に推奨しています。そして、酸化水は洗顔や掃除用に適しています。

また、床は全艦（デイサービス）無垢のウォールナットで作り、転倒時にも体に優しい造りをしています。さらに、インテリア部門で黒船のマストをイメージした黒船オリジナル家具を製造したり、豆から挽いたコーヒーをオリジナルコーヒーカップで味わったりするなど、利用者限定の空間を演出しています。

ほかにもたくさんこだわりはありますが、大切なのは「何をするかではなく、なぜするのか」ということです。

現状に挑戦し、他者とは違う考え方を示す。それが私たちの信条です。

デイサービスで提供される「黒船ランチ」



黒船デイサービス4号の外観



オリジナルの家具で利用者限定の空間を演出



「自分や愛する人が求めることは何か？」それを追求することで、私たちは現状に挑戦しています。“元気に日々を送ることができ、楽しみがそこにはある。やりたいことがやれるようになり、食事はおいしく健康に配慮され、安心して1日を過ごすことができる”。

それを追求した結果、黒船デイサービスが誕生したのです。

Q 自由な発想で事業をして良かったこと、また苦労したことなどを教えてください。

A デイサービスで使用するコスチュームは、当社アパレル部門で私がデザインしました。軍服のため、街でも10人中9人はドン引きです……。

オリジナルのコスチューム



創業期は、ケアプラセンターの門前払いもありましたし、「おふざけ」「介護を愚弄している」などと批判もされました。私などはコスチュームに加え、マントも着用するため「コスプレデイサービス」とも呼ばれています（笑）。しかし、コンセプトに共感する人、実態に触れた方々の口コミや医師たちが推薦してくれたおかげで、現在はデイサービスの空きが出るまで待ってくださる利用者もたくさんいます。また、市内の事業所では受け入れ先がなかった筋萎縮性側索硬化症（ALS）で頻繁に痰吸引が必要な人や、パーキンソン病の人など中重度の利用者も多いです。

当デイサービスは、初めから万人受けは求めていません。共鳴する人は、10人中たった1人でも良いのです。ですから、私たちは貴重な黒船ファンを“HITORI”と呼んでいます。

Q 冒険家の今後の目標を教えてください。

A ご存じのようにペリーは浦賀にたった4隻の黒船で来航し、日本史上最大の事件となりました。

当社の短期目標では、4隻の黒船を造船します。黒船デイサービスは4号から始まりました。4号は少人数に的を絞り、サービスの質を重視しています。利用者の“やりたい”に着目した作業療法が主体です。そして、

2017年の2月に出発した黒船デイサービス3号の外観



2017年2月に黒船デイサービス3号が出航しました。中規模でパーソナルトレーナーたちが所属し、マシーントレーニングなどにより機能回復を重視します。そこでは、体の“部位”に着目し、インナーマッスルにアプローチする理学療法が主体となります。

「機械ではなく、作業療法を中心とした人とのかわりけで当社理念は実現される」と、黒船デイサービス4号は謳っています。しかし、黒船デイサービス3号は、そのサービスにあえて異を唱えます。「人力には限界があり、リハビリマシンや科学的なプログラムにより当社理念は実現する」と。小規模か中規模か？ 人力か機械か？ それは矛か盾か!? 我々の戦いは外にあらず、内にあり！ という考え方で異なるサービスを提供していきます。

黒船デイサービス2号は、2020年8月に出版予定です。2025年までに黒船デイサービス1号を出航させて私の時代は終わります。そして、クロフネマン

クロフネマン（4代目）



は5代目に継承され、現クロフネマン（4代目）は次世代の発展に期待します。

次に、中期目標は執筆活動です。冒険家としての半生、遺跡発掘や軍隊経験、海外での大統領や首相との出会い、なぜダークヒーロー「クロフネマン」として活動したのか？ 黒船の真の目的とは？ ということを伝えていきます。

そして、長期目標は、再び冒険家として世界に旅立ちます。

●「個性的」という言葉の意味をどうとらえるかが重要である

山口氏（冒険家）への取材を通して感じたことは「個性的なサービス≠変わったサービス」ということです。「個性的」という言葉の意味を、自社のサービスに当てはめるのか、それとも通所施設を利用する人の要望に当てはめるのかによって、サービス内容は大きく異なります。

たとえば、全国初の個性的なサービスを提供していたとしても、それが利用者が求めた内容でなければ、他社との差別化には一切役に立ちません。やはり、サービス内容は利用者本位で考えなければならないのです。

冒険家のコスチューム姿を初めて見た時、私の正直な感想を言えば「差別化の意味で制服を目立たせているのか？」と単純に思っていました。しかし、冒険家の話を聞いていく中で、日本の介護問題を解決するための手段の一つということが分かり、私自身いろいろと考えさせられました。

ただ単純に福祉業界をPRしていただくだけでは、問題の根本的な解決には至らない待ったなしの状況です。介護の労働人口を増やすため、次世代の労働力として重要な子どもたちに「どうやって介護業界に興味を

持ってもらえるのか」という活動を業界全体で考えていかなければなりません。

そうした活動を冒険家は先進的に行っているのだと感じました。新しい取り組みを行えば、当然業界からの反発もあります。その中でも重要なのは、批判されても続ける覚悟を持つことではないでしょうか？ 冒険家の言葉の中にもありましたが、これまでにない取り組みを行う時は「初めから万人受けは求めていません。共鳴する人は、10人中たった1人でも良いのです」というような心構えが必要です。

個性的なデイサービスをつくるために重要なのは、「あなたの事業所のファンづくり」ではないでしょうか？ ぜひ、あなたが考える方法で介護業界を盛り上げていきましょう！！

引用・参考文献

1) ADOCホームページ

<http://adoc.lexues.co.jp/>（2017年1月閲覧）

全面改訂
地域包括ケア時代の
**施設ケアプラン
記載事例集**
～チームケア実践～

監修 高室成幸
ケアタウン総合研究所 代表
日本ケアサポートセンター 理事長

執筆 奥田亜由子
日本福祉大学 社会福祉学部 非常勤講師
ふくしの人づくり研究所 所長

看取りケア
ケアの継続性
本人らしさ
在宅復帰
状態別ケア
CADL
生活UIハ

施設ケアマネジメントの
展開のしかたノリ

地域貢献
栄養管理
ソーシャルワーク
個別ケア
スキンケア
リスクマネジメント
BPSD改善

全面改訂
根拠あるケアプラン立案がわかる！
アクセスメントからモニタリングまで、
事例で学ぶ
我流ではなく、
適切なケアプラン立案を

B5判 272頁 定価 3,612円+税

監修執筆 **高室成幸** ケアタウン総合研究所 代表
日本ケアサポートセンター 理事長

執筆 **奥田亜由子** 日本福祉大学 社会福祉学部 非常勤講師
ふくしの人づくり研究所 所長

居宅から施設へ連続性があるケアプラン
利用者の意欲を引き出す課題設定
評価しやすい具体的な目標設定
本人の「強さ」に着目したケアプラン ほか

日総研 601821 検索